

新しい研修様式の報告 —世田谷区福祉人材育成・研修センターの取組みから—

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団

世田谷区福祉人材育成・研修センター

木村 優

(研修 Web 世田谷区)

1. 目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために世田谷区福祉人材育成・研修センターでは、2月末から6月末までの研修を中止・延期していた。国の緊急事態宣言や区施設の使用制限、研修講師の辞退、所属法人から研修受講や講師派遣の自粛等、様々な問題により集合研修を実施することができない状況であった。研修センターでは、安心・安全に質の高い研修を実施することを目的に取組んだ実践内容について報告する。

2. 実践内容

- ①実施可能な研修方法の検討
- ②研修手法の確立
- ③研修再開に向けて必要な物品購入
- ④アンケートによる前年度比較



3. 結果

①Web 動画研修・Web 会議ツール (Google meet、Zoom) 研修・集合 (感染対策実施) 研修の実施。

または、複合的に組合せたハイブリッド研修の実施

②動画配信：ビデオカメラ等で撮影、PowerPoint に音声入力

配信方法：ホームページにアップ（一般公開）

YouTube にアップ（限定公開）

③動画編集の問題（時間がかかる） → 動画編集ソフトの導入

PowerPoint の問題（Office が古いと音声入力ができない） → Office2019 の導入

音の問題（ノイズが入る） → コンデンサーマイク等の購入

アンケートの問題（回収ができない） → Google フォームに入力

④Web 研修の実施状況（10月末現在、18本の研修中、16本のWeb 研修を実施）

昨年度実施研修との比較（ケアマネジャー研修、認知症ケア研修「医学」「制度」、人権の理解研修）

・受講者：令和元年度 231名 → 令和2年度 452名 (196%UP)

認知症ケア研修「医学的視点」 令和元年度 65名 → 令和2年度 133名

人権の理解研修 令和元年度 23名 → 令和2年度 172名

Web 研修についてアンケート結果

・使用機器：パソコン (76.5%)、スマートフォン (13.3%)、タブレット (8.6%)、その他 (1.6%)

・視聴場所：事務所 (61.5%)、自宅 (38.9%)、会議室 (5.1%)

・視聴時間帯：勤務内 (61.3%)、勤務外 (44.1%)

アンケート結果（メリット）	
・会場に行く必要がない	81.0%
・自分のペースで学習できる	78.8%
・時間を有効に使える	78.4%
・スケジュール調整がしやすい	73.3%
・繰り返し学習できる	62.2%
・感染リスクなく安心して受講できる	2.1%
・その他	0.7%

アンケート結果（デメリット）	
・その場で質問できない	45.1%
・他受講者とのやりとりがない	43.1%
・緊張感・集中力が保てない	29.5%
・業務中の受講が難しい	3.6%
・受講環境が整っていない	0.7%
・ネットワークづくりができる	0.6%
・その他	2.6%

※アンケート結果（メリット・デメリット）は複数回答

4. 考察と今後の課題

Web 研修は、コロナ禍において、感染リスクがなく安心・安全に研修を受講することができる。動画、Web 会議ツール、集合研修の手法を活用し、組み合わせることによって質の高い研修を実施することができる。移動時間の節約、スケジュール調整がしやすい、繰り返し学習できる等のメリットも多く、今後も上記の研修手法を活用し、組み合わせた研修を継続していく。

今後の課題は、グループワークや実技を伴う研修実施の熟練、受講者や講師の負担軽減、撮影・動画編集スキルの向上等がある。

研修センターは、今後も先進的な人材確保策や研修手法にチャレンジし、福祉・介護人材の確保、育成、定着支援を推進することで、地域共生社会、その先の Society 5.0（※）で活躍できる専門職を育成し、福祉従事者の社会的地位向上に取り組んでいく。

※IoT、AI、ロボット等を活用し、問題を解決することで、より暮らしやすい世の中になること

<助言者コメント>

上之園 佳子（日本大学文理学部社会福祉学科特任教授）

現況の新型コロナウイルス感染症の防止対策のなかで、短期間で 18 研修のうち 16 研修（10 月末）に対して多様な Web 研修を先駆的に取り組み、実施できたことは高く評価できると思います。その結果、受講者が 231 名（令和元年度）から 452 名（令和 2 年度）へと 196% 増加したという実績になって現れています。実施した研修方法は、Web 動画研修、教材・解説（PowerPoint に音声入力等）研修のオンデマンド研修と Web 会議ツールでのオンライン研修（双方向型）、集合（感染対策実施での対面型）研修を複合的に組み合わせたハイブリッド研修を実施したとのことです。受講者にとって選択肢があり、状況や経験により選べることは受講機会を広げていると思います。実施プロセスで経験した問題、試行錯誤の取組みとともに課題を明確にすることで、今後、他の機関や事業所が取り組むときの参考にする情報提供となっています。

また、受講者へアンケートで Web 研修のニーズや今後の課題等、実施成果の評価を行っています。結果から新たな生活様式での人材育成への方向性も示す報告となっています。さらに、今回の Web 研修受講者が事業所での Web 会議等の活用を考え、活用のノウハウを習得する機会となり、世田谷区の福祉・介護分野での IT 活用拡大傾向も調査結果で示されています。

報告は、世田谷区の福祉・介護分野で働く、これから働きたいという人への教育の機会を確保・拡大し、サービスの質を高め、利用者の生活の質を向上し、より安心して暮らせる世田谷へというミッションに向け職員全員で協力した成果の報告となっていました。来年度でのせたがや福祉区民学会でさらなる報告を楽しみしております。